

各種表彰のお知らせ

◎ 県消防表彰式(3月13日、盛岡市民文化ホール)

【消防庁長官表彰】

▷ 永年勤続功労章 菊池岩男(副団長)、福地孝市(同)、菊池朝男(5分団長)、菊池久人(11分団長)、米田幸生(市消防本部消防司令)

【県知事表彰】

▷ 功績章 山口岩男(5分団本部長)、男沢幹雄(6分団1部長)、宇夫亮(11分団1部長)、荒田良治(1分団3部長)、高橋篤(3分団本部長)、佐藤悦郎(団本部部长)、佐藤裕信(3分団2部長)、菊池一彦(7分団1部長)、多田成年(団本部部长)、林崎清吾(8分団1部長)、菊池雅基(1分団本部長)、佐々木良一(7分団2部長)、小林孝徳(8分団3部長)、伊藤佳史(9

分団本部部长)、千葉豊(10分団本部長)、菊池孝(市消防本部消防司令補)

【日本消防協会長表彰】

▷ 功績章 井手純(団長) ▷ 精績章 菊池久人(11分団長) ▷ 勤続章 松田春雄(3分団副分団長)、菊池悟(5分団副分団長)、古屋敷徳夫(6分団本部長)、奥友芳実(1分団本部部长)、菅原幸一(9分団本部部长)、山口岩男(5分団本部部长)、荒田良治(1分団3部長)、佐藤長悦郎(団本部部长)、高橋篤(3分団本部部长)、佐藤裕信(3分団2部長)、菊池一彦(7分団1部長)、菊池隆(1分団4部班長)、菊池利徳(8分団4部班長)、佐々木一富(11分団1部班長)、上村義夫(4分団1部班長)、阿部正明(6分団2部班長)、及川司(8分団1部班長)、奥寺勝(市消

防本部消防司令補)、菊池巧(市消防本部消防司令補)、千田一志(市消防本部消防司令補)

【県消防協会総会・会長表彰】

▷ 功労章 山中一(1分団長)、瀧本孝一(10分団長)、佐々木祐二(8分団長) ▷ 功績章 菊池常保(4分団本部部长)、在家金正(8分団本部部长)、男沢幹雄(6分団1部長)、佐藤幸晴(8分団6部長)、藤田宏(4分団本部部长) ▷ 婦人消防協力隊及び婦人防火クラブ員 佐々木みね子(婦人消防協力隊6分隊長) ▷ 内助功労章 堀切澄子(堀切金正8分団副分団長夫人)、佐々木美子(佐々木達郎11分団本部部长夫人)、佐々木光子(佐々木恭彦8分団本部部长夫人)

※敬称略

◎ 第65回岩手芸術祭(平成24年10月6日、岩手県民会館)

工芸の部芸術祭賞 作品名「至青通天」 縦210㌢×横110㌢ 藍染 昆野さんは10回目の出品で最高賞を受賞した。宇宙をイメージさせるような深い藍色に、生命の誕生が映し出されている。自分の想いを藍染に表現し、多くの人の共感を得たことが受賞につながった。

昆野さんは10回目の出品で最高賞を受賞した。宇宙をイメージさせるような深い藍色に、生命の誕生が映し出されている。自分の想いを藍染に表現し、多くの人の共感を得たことが受賞につながった。

工芸の部奨励賞 生命の樹 松ノ木好恵さん=早瀬町=

小説の部芸術祭賞 作品名「秩父札所巡り余話」 2006年度以来2度目の受賞。山田さんが実際の旅先で出会った親子をモチーフに描いた作品。「念願がかない2度目の受賞。生涯現役で、執筆活動を続けたい」と今後の活動にも意欲を見せた。

山田真砂夫さん 96歳 =綾織町=



災害時の支援体制について協定を交した関係者ら

災害時に官民一体で協力するための「遠野市災害支援協定」の締結式は3月17日、市総合防災センターで開催されました。市は福祉施設や流通企業、宿泊施設など民間24団体31施設と協定を締結。参加した関係者ら80人は、災害時に連携して対応することを誓い合いました。協定内容は災害時▽福祉避難所の設置および運営▽物資供給▽施設開放▽をする3種類で、市の要請に対し各団体が支援するもの。本田市長は「皆さまの協力を頂きながら、市民の安全安心の確保に努めたい」と誓いました。震災時にボランティア活動などに尽力した市社会福祉協議会の白井悦男会長は「震災での経験を生かし、災害時はさまざまに協力したい」と決意を新たにしました。

災害時の官民一体の連携誓う 民間24団体と災害支援協定

健康的で快適な暮らしを学ぶ 食育についての講演会開催 食事を通じた健康づくりについて理解を深める「食育シンポジウム」は3月7日、あえりあ遠野交流ホールで開催されました。「ミチコ健康づくりカレッジ」の新田道子さんと順天堂大学大学院教授の白澤卓二さんによる講演と対談が行われ、参加した市民ら160人は、心と体を健康に保つ秘けつを学びました。4月から供用開始する市総合食育センターの記念事業の一環で、食育への意識を高めてもらうと市が開催。新田さんは、自身が体操選手としてオリンピックを目指した経験などに触れ「健康的な生活を送るには目標を持つことが大切。食生活の改善や運動に積極的に取り組みましょう」と呼び掛けました。白澤教授は最新の研究事例を紹介しながら「健康的に長生きするためには摂取カロリーを抑え、野菜や果物を摂取することな



対談する新田(左)さんと白澤さん

どが効果的」と指摘。対談では健康になるためには食生活や運動だけでなく、心の健康を保つことも必要とし、参加者へ健康に暮らすことの大切さを訴えました。

遠野テレビからのお知らせ

自主放送チャンネル追加にあたり 設定変更をお願いします 遠野テレビの行政・お天気チャンネルの番号を変更しました。設定変更をしないと視聴できませんので、ご協力をよろしく願います。 遠野テレビのニュースは... リモコンボタン 11 これまでどおり、変更ありません 市議会やお天気は... リモコンボタン 10 に変更しました! ①問い合わせ 遠野テレビ(☎63-1711)

ボランティア活動拠点を閉所 今後の継続的な支援を誓う 沿岸被災地の復興支援のため、市浄化センター内に活動拠点を設置していたNPO法人静岡県ボランティア協会(神田均理事長)と神奈川県の施設閉所式は3月9日、市総合福祉センターで開催されました。施設を利用したボランティアや関係者ら250人は、これまでの活動を振り返り、今後の継続的な支援を誓いました。 両団体は被災地のニーズに合わせた新しい支援活動に切り替えるため、施設の閉所を決定。式典ではボランティア活動のスライドショーや関係者への花束贈呈が行われました。黒岩祐治神奈川県知事は「施設の閉所は終わりではなく、新たな支援の始まり。観光振興などで経済的支援につなげたい」と、神田理事長は「滞在中、遠野の昔話などで心をいやしていただき、感謝しています。遠野との絆をさらに深め、支援を続けたい」とそれぞれ決意を述べました。 静岡ボランティア協会は平成23年4月8日に「遠野まごころ寮」を開所し、延べ3465人を、神奈川県は同年7月24日に「かながわ金太郎ハウス」を開所し、延べ10695人をそれぞれ受け入れ、沿岸地域のガレキ撤去などのボランティア活動を展開してきました。なお、同じく浄化センターに拠点を置いていたNPO法人遠野まごころネットは、旧(株)ワカバ電装内(遠野町)に拠点を移転し、活動を継続しています。



静岡県、神奈川県、遠野市の関係者ら全員による記念撮影